

生成AIとの付き合い方

慶應義塾大学理工学部物理情報工学科
渡辺

生成AIとレポート

Q:なぜ生成AIでレポートを作成してはならないか？



不正だから？

生成AIとレポート

Q:なぜ生成AIでレポートを作成してはならないか？



不正だから？

(もちろんそれもあるけど)

A:学習の機会を失うから



生成AIとレポート

文章を正しく読み、正しく書くのは極めて重要な能力であり、是非大学で学んで欲しい



生成AIに文章生成を任せてしまうと、文章を書く能力が身につかない

生成AIとレポート

Q: AIにできることを、なぜ人間がやらないといけ
ないの？

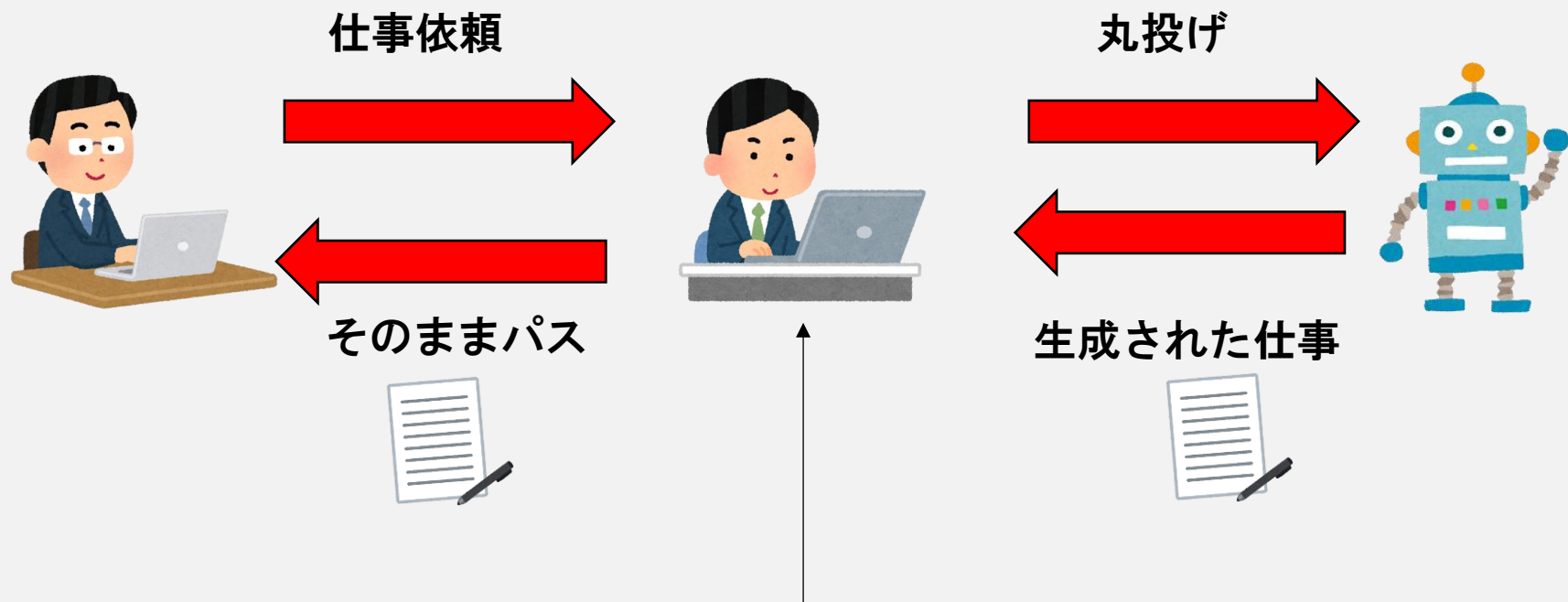


A: AIの出力に責任を取れるようにするため



AIと仕事

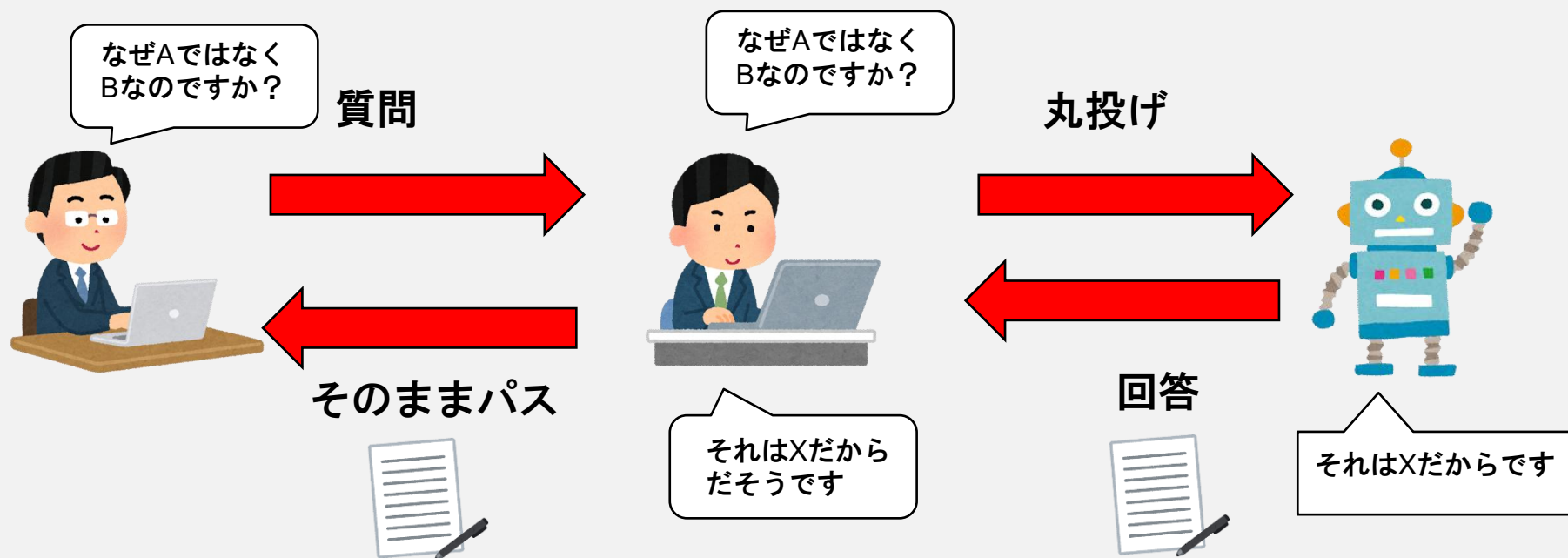
上司からなにかの仕事を頼まれ、それをAIに丸投げした



この人は、生成された結果について理解できていない

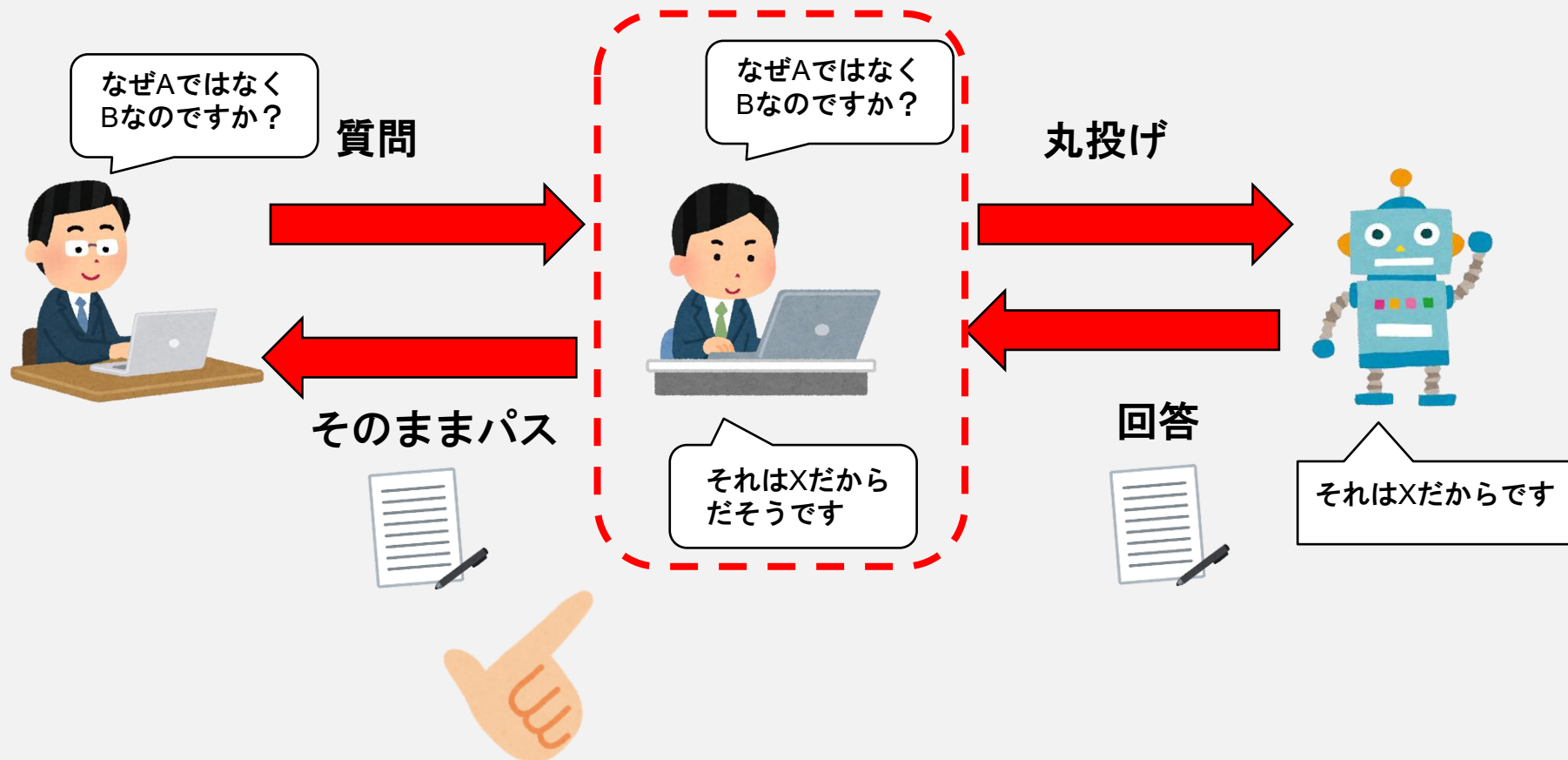
AIと仕事

上司から仕事に関して質問されても、内容を理解していないので全てAIに聞くことになる



AIと仕事

上司から仕事に関して質問されても、内容を理解していないので全てAIに聞くことになる



この人、必要なくない？

AIとの付き合い方

AIの**活用**はOK

AIによる**手抜き**はNG



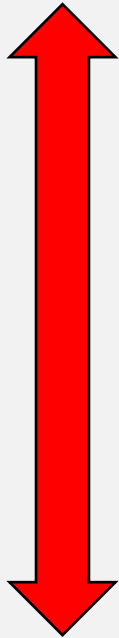
AIはどこまで使って良いのだろうか？

読書感想文



全くAIを使わずに自分で書く

絶対OK



この間はず



完全にAIに書かせる

絶対NG

読書感想文



全くAIを使わずに自分で書く

絶対OK

自分で書いた文章をAIに添削させる

中心テーマをAIにいくつか提案させ、その中から選んで書く

どこまで
OK?

箇条書きで書いたものをAIに膨らませる

AIに書かせたものに修正指示を出し、何度も提出させて完成させる



完全にAIに書かせる

絶対NG

AIの仕事・人間の仕事

今後ますますAIができることが増えていく
その全てを人間が行うのは現実的ではない



人間の仕事は以下の2つ

AIの出力に責任を負うこと
AIの出力に付加価値をつけること

責任を取るということ

AIの活用はOK

ただし、その出力に責任をとること



「どうしてここはこうなっているのですか？」

「ChatGPTがそう言っていたので」



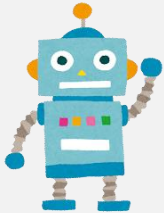
これは絶対だめ

責任を取るということ



ファクトチェックして

はい、これは事実です。確かにXが原因でYとなることがあります。その理由は.....



この出力が、AIがもともと持っていた知識(事実)なのか、それとも推論なのか判別できなければファクトチェックにならない。
しかし、AI出力が事実なのか推論なのか判断できるならもともとファクトチェックは不要

「ファクトチェックして」というプロンプトは無意味

「事実かどうか判別できる資料を教えて」などと聞いて、外部資料にあたってチェックする。そもそも「真実」と「嘘」の二元論で捉えず、「どの程度確からしいか」を自分なりに分類して判断を保留すること。

「AIがこう言っていたから自分の責任ではない」は通用しない

付加価値をつけるということ

AIの出力の質を保証、改善する

- AIが出力したコードのセキュリティホールに気づいて修正
- AIが出力したコードの計算量が無駄に大きいことに気づいて修正
- AIが出力した文章の言葉遣いが業界では一般的でないことに気づいて修正
- 上記の問題がないことを確認してから自分の責任で提出

AIの出力に対してリテイクを出すためには専門知識が不可欠

AIに投げるプロンプトのレベルを上げる

- 「面白いゲームを作って」←誰でも思いつく
- 「XとYを組み合わせたゲームを作って」←XとYを両方知らないと思いつかない

「**あなたらしさ**はなにか？」に答えられるようにする

「AIの出力にあなたが付加価値をつける」から
「あなたにAIが付加価値をつける」状態へ

結局、AIはどこまで使って良いの？



自分で考えてください

大事なのは「不正になるかどうか」ではなく、
「自分の学びになるかどうか」で判断すること